



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場会社名 NOK株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7240 URL <http://www.nok.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 土居 清志  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部 部長 (氏名) 高橋 則幸 TEL 03-6891-0191  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	308,364	△9.8	2,164	△84.6	4,081	△77.4	1,370	△85.8
2019年3月期第2四半期	342,029	△4.3	14,040	△30.1	18,036	△32.2	9,650	△40.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △8,041百万円 (-%) 2019年3月期第2四半期 18,023百万円 (△48.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	7.92	—
2019年3月期第2四半期	55.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	780,678	472,606	55.4	2,500.74
2019年3月期	785,133	485,498	56.6	2,567.92

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 432,556百万円 2019年3月期 444,177百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	619,600	△7.5	9,500	△58.9	14,000	△55.0	3,000	△12.3	17.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	173,138,537株	2019年3月期	173,138,537株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	167,037株	2019年3月期	166,905株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	172,971,600株	2019年3月期2Q	172,965,722株

(注) 従業員持株ESOP信託口は2018年4月に終了しております。なお、従業員ESOP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式数に含めております。（2020年3月期第2四半期一株、2019年3月期第2四半期6,116株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内需要には底堅さがみられるものの、中国向けを中心とした輸出の減少を背景に停滞感を強めています。海外においては、中国経済は内需の回復が遅れているほか、米国による関税の引き上げにより外需も低迷し、減速感が強まっています。さらに、米中間の貿易摩擦の影響から海外の経済は先行き不透明な状況が続いています。

自動車業界は、国内での需要は底堅く推移しています。一方海外では、中国、北米での需要は停滞局面に入っています。

電子業界は、スマートフォンについては、買い替えサイクルの長期化による市場の縮小とともに、5G回線の本格普及前の買い控え影響も出ております。また、ハードディスクドライブについては、サーバー用途は微減でしたが、モバイル用途で大幅な生産減となっております。

事務機業界は、カラー機の伸長はあるものの、生産台数は横ばいで推移しました。

このような環境の中、当社のセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

シール事業におきましては、自動車向けは、国内の需要は底堅く推移しています。しかし、中国での需要回復が遅れていることにより販売は減少しました。また、一般産業機械向けは、建設機械、工作機械、ロボット向け等の需要が減少したことにより、販売は減少しました。

その結果、売上高は1,618億8千5百万円(前年同期比5.8%の減収)となりました。営業利益は、販売の減少、および人件費・経費の増加等により115億7千2百万円(前年同期比37.0%の減益)となりました。

電子部品事業におきましては、スマートフォン、ハードディスクドライブ、自動車向け等の市場の低迷の影響、特にスマートフォン向けについては、FPCの需要停滞、および競争激化の影響等もあり販売が減少しました。

その結果、売上高は1,323億3千2百万円(前年同期比14.2%の減収)となりました。営業損失は、償却費の減少効果等はあったものの、大幅な減収により、97億7千9百万円(前年同期は50億8千8百万円の営業損失)となりました。

ロール事業におきましては、プリンター向けの需要が減少したことにより販売は減少しました。

その結果、売上高は95億3千8百万円(前年同期比8.3%の減収)となりました。営業損失は、経費等の削減に努めたものの、販売の減少の影響が大きく、1億3千4百万円(前年同期は5千2百万円の営業利益)となりました。

特殊潤滑剤等のその他事業におきましては、売上高は46億8百万円(前年同期比15.8%の減収)となりました。営業利益は、4億7千3百万円(前年同期比33.1%の減益)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は3,083億6千4百万円(前年同期比9.8%の減収)となりました。営業利益は21億6千4百万円(前年同期比84.6%の減益)、経常利益は40億8千1百万円(前年同期比77.4%の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億7千万円(前年同期比85.8%の減益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、7,806億7千8百万円となり、前連結会計年度末対比で44億5千4百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が増加したものの、現金及び預金が減少したこと、および株価の下落等に伴い投資有価証券が減少したことによるものです。

負債合計は3,080億7千2百万円となり、前連結会計年度末対比で84億3千8百万円の増加となりました。これは主に短期借入金と長期借入金が増加したものの、買掛金が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末対比で128億9千2百万円減の4,726億6百万円となり、自己資本比率は55.4%となりました。これは主に為替相場の変動に伴う為替換算調整勘定の減少と、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月24日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	80,798	74,269
受取手形及び売掛金	129,464	143,361
電子記録債権	15,704	13,487
たな卸資産	86,715	85,397
その他	15,303	15,741
貸倒引当金	△157	△128
流動資産合計	327,828	332,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	89,695	93,519
機械装置及び運搬具(純額)	110,968	112,732
その他(純額)	61,831	56,938
有形固定資産合計	262,496	263,190
無形固定資産	4,760	4,349
投資その他の資産		
投資有価証券	150,066	142,865
その他	40,155	38,322
貸倒引当金	△174	△177
投資その他の資産合計	190,047	181,010
固定資産合計	457,304	448,550
資産合計	785,133	780,678

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,557	57,846
短期借入金	66,972	63,952
未払法人税等	3,549	2,872
賞与引当金	10,125	13,171
その他	55,856	55,628
流動負債合計	181,061	193,470
固定負債		
長期借入金	19,563	17,284
繰延税金負債	7,133	6,166
退職給付に係る負債	87,842	86,665
その他	4,033	4,486
固定負債合計	118,572	114,602
負債合計	299,634	308,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,335	23,335
資本剰余金	23,244	23,288
利益剰余金	362,604	359,553
自己株式	△226	△226
株主資本合計	408,959	405,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,694	45,286
為替換算調整勘定	12,157	4,058
退職給付に係る調整累計額	△24,633	△22,740
その他の包括利益累計額合計	35,218	26,604
非支配株主持分	41,321	40,049
純資産合計	485,498	472,606
負債純資産合計	785,133	780,678

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	342,029	308,364
売上原価	284,656	263,409
売上総利益	57,373	44,954
販売費及び一般管理費	43,332	42,790
営業利益	14,040	2,164
営業外収益		
受取配当金	1,272	1,322
持分法による投資利益	2,320	2,290
為替差益	222	—
その他	1,758	2,858
営業外収益合計	5,573	6,471
営業外費用		
支払利息	1,380	1,485
為替差損	—	2,582
その他	197	486
営業外費用合計	1,577	4,554
経常利益	18,036	4,081
特別利益		
固定資産売却益	115	131
投資有価証券売却益	32	376
その他	14	—
特別利益合計	162	508
特別損失		
固定資産除却損	1,943	468
その他	66	17
特別損失合計	2,009	486
税金等調整前四半期純利益	16,189	4,104
法人税等	4,879	2,512
四半期純利益	11,309	1,591
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,659	221
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,650	1,370

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	11,309	1,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,629	△2,385
為替換算調整勘定	3,054	△7,236
退職給付に係る調整額	1,747	1,809
持分法適用会社に対する持分相当額	282	△1,820
その他の包括利益合計	6,713	△9,633
四半期包括利益	18,023	△8,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,425	△7,242
非支配株主に係る四半期包括利益	1,598	△798

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

IFRSを適用している一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、IFRS第16号を適用しております。これにより、借手は原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	171,873	154,283	10,398	5,474	342,029	—	342,029
セグメント間の内部売上高又は振替高	989	24	0	219	1,234	(1,234)	—
計	172,863	154,307	10,398	5,694	343,263	(1,234)	342,029
セグメント利益又は損失(△)	18,363	△5,088	52	708	14,036	4	14,040

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2018年5月9日に行われた日東電工(蘇州)有限公司との企業結合について、第1四半期連結会計期間に暫定的な会計処理を実施しておりましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。これにより、「電子部品事業」セグメントにおいてのれんの金額が1,338百万円増加しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	161,885	132,332	9,538	4,608	308,364	—	308,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	846	11	—	233	1,091	(1,091)	—
計	162,731	132,344	9,538	4,841	309,455	(1,091)	308,364
セグメント利益又は損失(△)	11,572	△9,779	△134	473	2,131	33	2,164

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 33百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。